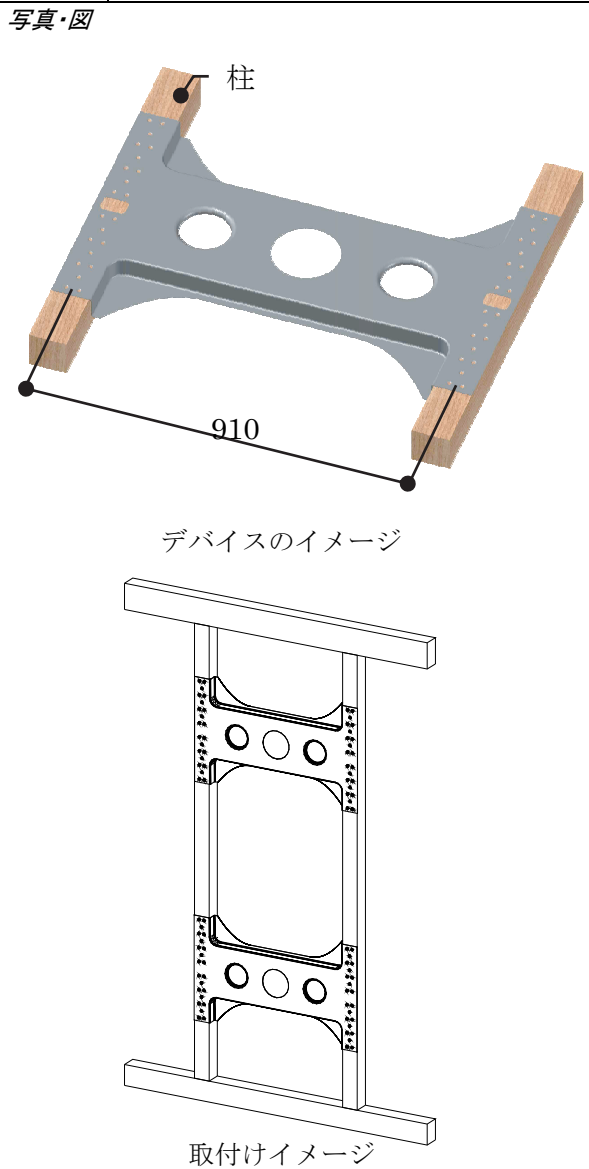


評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2029年3月31日	評価番号	W-034	
評価技術名称 NS 木造耐震デバイス					連絡先 NS ハイパーツ株式会社 http://www.nshp.co.jp/ 〒 509-0249 岐阜県可児市姫ヶ丘1丁目 35 電話 0574-42-8802 Fax 0574-42-8803				
概要	技術概要 1枚の薄鋼板から成形したデバイスを柱-柱間に取り付けることで、変形追従性に優れ、地震力による大変形時も柱折損なく、エネルギー吸収できる工法。								
	技術の特徴 ・ 部材は一人で運ぶことができる。 ・ 床・天井を剥がさずに施工が可能。					コスト			
						サンプル構面	28,182 円/kN		
					設計見積り例	-			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名 —					NS ハイパーツ株式会社				
評価番号 —					その他				
評価書の有効期限等 —									
仕様	適用範囲				写真・図  柱 910 デバイスのイメージ 取付けイメージ				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	2階建て以下、500㎡以下、13m以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	柱サイズ:90mm×90mm または 105mm×105mm 柱間距離:910mm 柱長さ:2600~3030mm							
	主要構成部材の仕様 建築用構造用溶融亜鉛-アルミニウムマグネシウム合金めっき鋼板(スーパーダイマ/NSDC400)板厚 1.2mm								
	耐震補強性能(一例)								
	高さ方向の位置	壁基準耐力	壁基準剛性						
	標準(2段)	5.2 kN/m	710 kN/m						
設計方法 ①柱接合部による低減:取付け部が健全であること ②劣化による低減:取付け部が健全であること ③柱長さによる低減: 2600mmを基本とし、長さによる低減を行う。 ④柱の基準強度を確認し、応力度を確認すること									
施工者指定 施工に関しては施工マニュアルベースで対応できる簡便な施工を前提としており、施工者の指定は行わない。 設計者には、設計マニュアルの整備と共に研修会を実施。									
その他									

別紙：壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2029年3月31日	評価番号	W-034
評価技術名称					連絡先	NS ハイパーツ株式会社	http://www.nshp.co.jp/	
NS 木造耐震デバイス					〒 509-0249 岐阜県可児市姫ヶ丘1丁目 35			
					電話	0574-42-8802	Fax	0574-42-8803

壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

No.	取付け形式	デバイスの種類略号	配置			壁基準耐力 Fw (kN/m)	壁基準剛性 Sw (kN/rad/m)
			壁幅 (P)	段数 (段)	高さ方向 の位置		
1	30HR10S2-52	30HR	1.0	2	標準	5.2	710
2	35HR10S2-52	35HR	1.0	2	標準	5.2	710
3	30HR10M2-49	30HR	1.0	2	片寄せ	4.9	680
4	35HR10M2-49	35HR	1.0	2	片寄せ	4.9	680
5	30HR10S1-27	30HR	1.0	1	標準	2.7	310
6	35HR10S1-27	35HR	1.0	1	標準	2.7	310
7	30HR20M2-49	30HR	2.0	2	片寄せ	4.9	680
8	35HR20M2-49	35HR	2.0	2	片寄せ	4.9	680

柱長さによる低減:2600 mmを基本とし、長さによる低減を行う。

仕
様

